

研究機関名：公立大学法人横浜市立大学

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和7年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
「富岳」成果創出加速プログラム（文科省）	2	2,903,997	2,903,997
ムーンショット型農林水産研究開発事業（農水省）	1	2,151,484	2,151,484
戦略的創造研究推進事業（JST）	2	1,500,000	1,500,000
研究成果展開事業（JST）	1	3,000,000	3,000,000
大学発新産業創出基金事業（JST）	2	900,000	900,000
創発的研究支援事業（JST）	3	2,100,000	2,100,000
ワクチン・新規モダリティ研究開発事業（AMED）	1	2,622,000	2,622,000
医療研究開発推進事業費（AMED）	2	2,628,298	2,628,298
脳神経科学統合プログラム（AMED）	1	1,128,298	1,128,298

(別添様式3)

医療機器等研究成果展開事業 (AMED)	1	2,163,600	2,163,600
革新的先端研究開発支援事業 (AMED)	1	500,000	500,000
オープンイノベーション研究・実用化推進事業 (農水省)	1	700,000	700,000
合計	18	22,297,677	22,297,677

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

- ・研究者に対して、直接経費から人件費として支出した額の範囲内でインセンティブを付与し、研究者のモチベーション向上を図った。
- ・特任教員が自ら獲得した研究費から自身の人件費を捻出し、特任教員の雇用安定化につながった。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

https://www.yokohama-cu.ac.jp/res-portal/res_exps/hatsugi/pi_buyout.html